

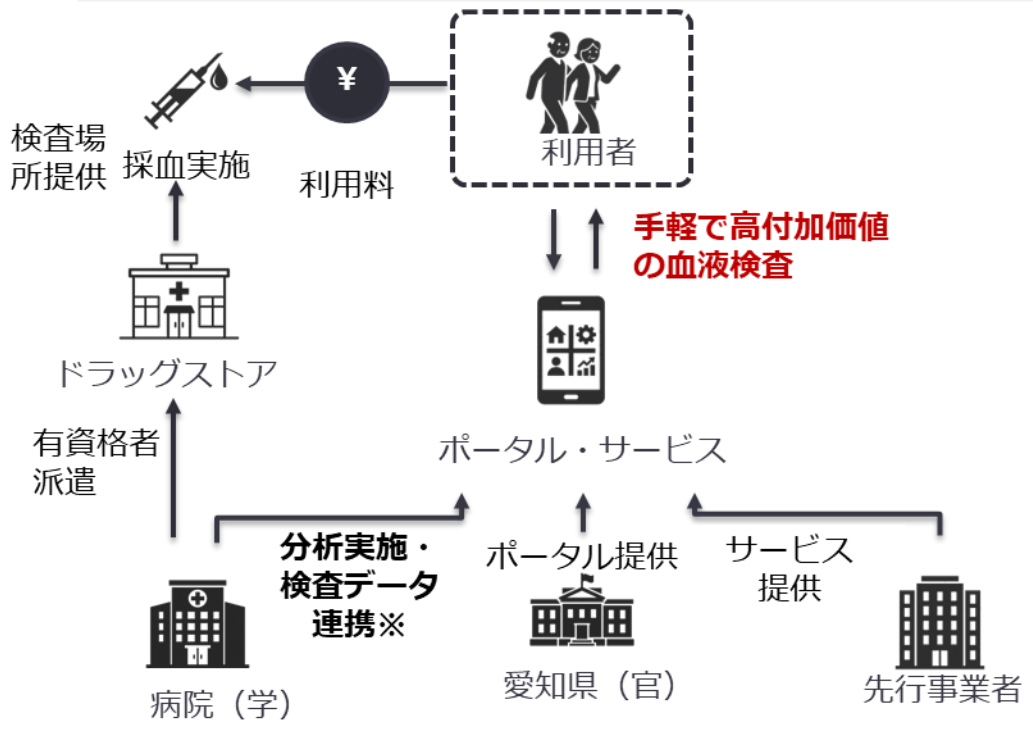


<b>事業名</b>	ADHPポータル活用によるフレイル・疾病リスク予測に基づく健康気づき提供事業
<b>実施主体</b>	医療法人豊田会
<b>協力団体</b>	一般社団法人UDCKタウンマネジメント、富士通Japan株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、豊田自動織機健保組合 など

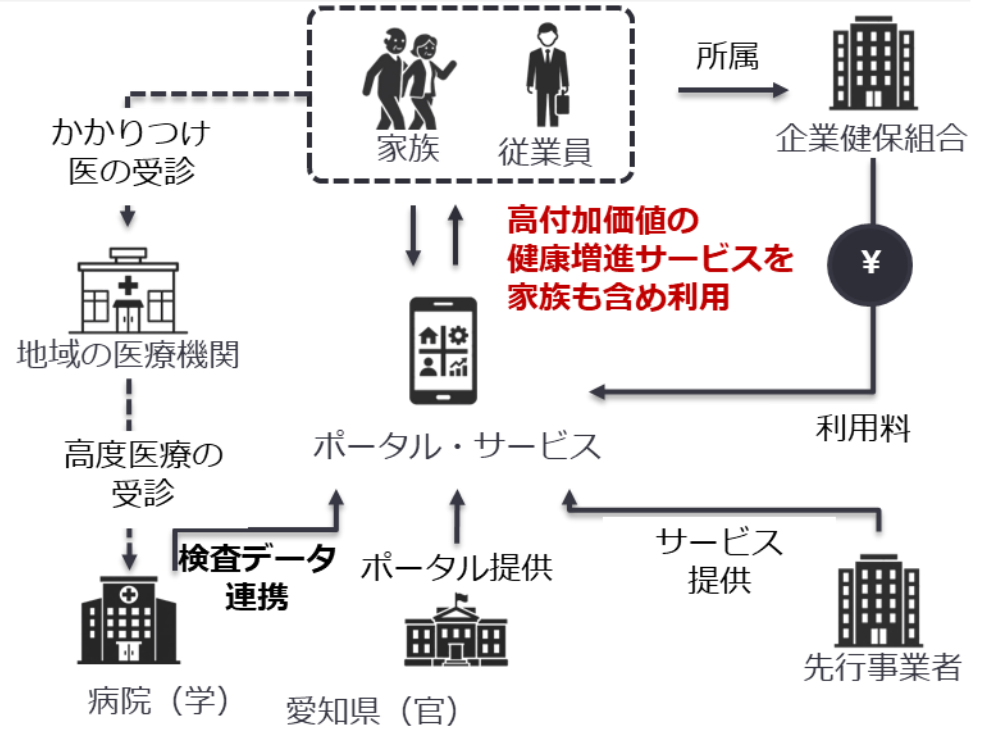
## 事業の全体像

医療法人豊田会は中核病院として、ADHPポータルを活用し、地域住民の健康増進・疾病予防を目的に3施策を推進する。ライフログデータによるフレイル・疾病リスクの予測・可視化を通じた気づきの提供、医療機関の検査データをPHR基盤へ連携する仕組みおよび関連サービスの開発・実装、ならびに利用促進施策の展開によりPHR利用率の向上を図る。あわせて、利用状況および行動変容への影響について定量的に検証する。

**【実証ビジネスモデル①】 手軽で高付加価値の血液検査**  
 検査データが翌日閲覧可能  
 自身の検査データにより、最適にパーソナライズされたデジタルサービス提供



**【実証ビジネスモデル②】 B to B 収益モデル**  
 モデル①のサービスを健康保険組合員とその家族に提供、健保組合全体の満足度向上と地域医療機関への早期受診による、医療費適正化の効果を可視化



※解析室の空き時間で解析を実施することで、原価の削減



<b>事業名</b>	ADHPポータル活用によるフレイル・疾病リスク予測に基づく健康気づき提供事業
<b>実施主体</b>	医療法人豊田会
<b>協力団体</b>	一般社団法人UDCKタウンマネジメント、富士通Japan株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、豊田自動織機健保組合 など

## 2026年度の実証内容

### 検証目的

医療機関の検査データをPHR基盤に連携する仕組みおよび関連する2サービス連携を開発・実装し、送客施策の実施によって、PHR利用率の向上および利用者の行動変容への影響を定量的に検証することを目的とする

### 検証内容

検証内容		2026年度	検証内容
利用者 獲得施策	施策① 病院顧客	一部の健診実施者に案内	1. 利用者獲得効果 3 施策での利用者獲得の効果を検証 ①病院顧客300名獲得 ②簡易健診200名実施 ③健保組合500人募集で 合計1,000名での実証を目標とする
	施策② 簡易健診	ドラッグストア1店舗で オペレーション実証	
	施策③ 企業利用	豊田自動織機企業健保からの利用案内	
サービス	AI医療機関検索 (Ubie) AI生活習慣アドバイス (カロママプラス)	2. 利用者獲得の要員調査・分析 利用者にアンケートを実施し、利用のモチベーションとなった 要因を分析	
開発	電子カルテシステム・PHR基盤連携	簡易健診実施から、データ解析・登録、PHRで閲覧可能とするまでの 技術的フィジビリティと、業務運用内容を検証	

### 2026年度スケジュール

2026						2027					
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要件定義・開発・テスト						サービス利用					
実証計画詳細策定・運用検討			環境構築・リハーサル			実証実施			分析		